

別記様式第十三（第六十五条関係）

（第一面）

特 定 建 築 行 為 許 可 申 請 書

年 月 日

都道府県知事
指定都市の長
中核市の長 殿

許可申請者 住所
氏名

特定都市河川浸水被害対策法第 66 条の規定により、特定建築行為の許可を申請します。
この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

※手数料欄		
※受付欄	※決裁欄	※許可番号欄
年 月 日		年 月 日
第 号		第 号
係員印		係員印

(第二面)

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 地名地番】

【2. 住居表示】

【3. 特定建築行為に係る建築物の敷地における基準水位】

【4. 特定建築行為に係る建築物の敷地における特定水深等】

【5. 建築物の階数】

【6. 延べ面積】

【7. 建築面積】

【8. 構造方法】

造 一部

造

【9. 用途】

【10. 居室の種類】

【11. 居室における基準水位から床面までの高さ】

【12. 工事種別】

☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更

【13. 工事着手予定年月日】 年 月 日

【14. 工事完了予定年月日】 年 月 日

【15. その他必要な事項】

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 第一面関係

※印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

① 住居表示が定まっているときは、2 欄に記入してください。

② 9 欄は、住宅又は特定都市河川浸水被害対策法施行令第 22 条第 2 項各号に掲げる用途の区分に応じ、書いてください。

③ 10 欄は、住宅又は特定都市河川浸水被害対策法施行令第 22 条第 2 項各号に掲げる用途の区分に応じ、同条第 1 項又は第 2 項各号に定める居室をできるだけ具体的に記入してください。また、建築物に当該居室の利用者の避難上有効な他の居室がある場合においては、当該他の居室についても記入してください。

④ 11 欄は、10 欄に記入した居室ごとに、当該居室の床面の高さと当該居室における 3 欄の基準水位との差を記入してください。

⑤ 12 欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑥ ここに書き表せない事項で許可の参考となる事項は、15 欄又は別紙に記載して添えてください。